



宮川っ子

今年も残りわずか、1年の締めくくりをしっかりと行って、新年を迎えましょう。

昨年、一昨年は暖冬で雪が少なかったのですが、今年は12月中旬から、大雪に見舞われました。この雪は、大人にとっては「除雪が大変」「車の運転が心配」等、あまりありがたいものではありませんが、子供にとっては待ちに待った空からの贈り物のようです。雪が降った日、子供たちはニコニコの笑顔で登校し、休み時間などに雪合戦をしたり雪だるまを作ったりしていました。しかし、せっかくの雪も翌日には溶け出し、茶色く汚れてしまうと子供たちはがっかりした表情を浮かべていました。こうした自然の中での遊びを通して季節を感じたり生活の中でのルールを学んだりしていくのではないかと思います。



さて、今年も残りわずかです。子供たちは、クリスマスやお正月等楽しみなことがたくさんあり、なんとなく「ウキウキ」した気持ちで日々を過ごすことと思います。しかし、学期末のこの時期は交通事故、不審者、お金や物の貸し借りのトラブルが多くなります。学校でも指導を徹底しますが、校区等で子供たちの危険な行動を見掛けられましたら、声を掛けてくださると幸いです。

交通安全教室

11月19日(木)、20日(金)の2日間、上市警察署、交通指導員、PTAの方々などに協力していただき、交通安全教室を行いました。19日(木)は、3～6年生が自転車の正しい乗り方について教えていただきました。今年度は、学校周辺の道路で行ったので、車や歩行者に気を付けながら自転車に乗らなくてはならず、子供たちは少し緊張したようでした。また、20日(金)は、1・2年生が道路の歩き方を教えてもらいました。道路の右端を歩いたり、信号を自分の目で確認したりすることが大切だと改めて感じたようでした。これらのことをしっかり身に付け、絶対に交通事故に遭わないようにしてほしいと思います。



スポーツ塾(カターレ富山)



11月27日(金)、カターレ富山から4人のコーチに来ていただき、1・2年生がスポーツ塾を行いました。子供たちは、遊びやゲームを通してサッカーに必要な動きや技術を体験するとともに、コーチのプレーの凄さにびっくりしていました。今回の体験からスポーツ好きの子供たちになってくれることを願っています。

いのちの教室

12月17日(木)、富山県立総合衛生学院から6名の学生の方に来ていただき、4年生が「いのちの教室」を行いました。針先で開けた穴ぐらいの大きさの受精卵から約10か月かけて、母親のお腹の中で少しずつ大きくなって生まれてくることや、生まれてくる赤ちゃんに対する家族の思いや願いなどを学習することで、「最初はこんなに小さかったんだ」などの感想をもった子供たちは、小さかった命をこんなに大きく育ててもらったことに感謝するとともに、これからはいろいろなことを頑張ることで命を大切にしていかなければならないと思ったようでした。



1月の行事予定(主なもの)

- 8日(金) 始業式・校内書初大会
- ※1月30日(土)に予定している学習参観・学級懇談会につきましては、感染症対策を図りながら実施する方向で検討しています。実施日や実施方法等が決まりましたらお知らせします。